

# 磐城時報

日七十

編輯兼發行 阿部 弘成  
印刷所 磐城時報社  
發行所 磐城時報社  
一部金貳圓 二月金貳圓  
廣告料 一行十二字 五字一圓  
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

## 松ヶ岡公園の櫻と 平市で宣傳

### 観客の歓迎方法決る

平市役所では松ヶ岡公園櫻、一方観客歓迎方法としの準備について十六日土木では平藝妓屋組合に交渉し委員を開き協議の結果例三百圓を補助として公園の年の如く主要各驛に立看板舞臺で花見踊を公開する外を立看板を掲げて観客の設備は例年通り行ふ客の吸引に努める事となつた。平藝妓の宣言十二日から二十八日迄受付傳ヒラを作製して各驛を通り、紹介の勞をなさる事になつた。

## 磐高女卒業式 榮えある優等生八名

- 磐城高等女學校第二十四回卒業式は十八日午前十時が舉行するが、卒業生並に榮えある優等生等の如くである。
- 優等生五十石剛子(植田)
  - 大和田智恵子(平)木村
  - し(平)桐谷つね(平)永瀬
  - 智子(平)正木千鶴子(平)
  - 松崎悦(平)吉田順子(泉)
  - 若松いよ(四倉)
  - 卒業生 青木俊子 安島
  - すま子 阿部りよ 荒木
  - 友子 安龍ごみ 安藤千
  - 枝 飯島政子 猪狩あ
  - 猪狩喜美子 猪狩静子
  - 石井増子 五十石剛子
  - 伊藤恭子 井上和子 今
  - 井とみ 渡葉ひさ子 鶴
- 沼あい子 鶴沼とし子  
上澤智子 江川照子  
尻くに子 江尻紫子  
尻みや子 遠藤ちい  
泉經子 大越せつ子  
越わか 大須賀ゆき子  
大田品子 大高真子  
谷登志子 大塚みさ子  
大平やす子 大森愛子  
大和田智恵子 岡田幸子  
押田慶子 織田芳枝  
野明子 小野光枝 小野  
悦子 小野光枝 小野不  
二 小野まさ子 小野百  
合子 折笠紀子 加澤あ  
き加澤とく 片岡久榮  
金田勝子 加美山みや  
川又よし 菅野文子 菊  
地きよ 木田康子 木田

## 平市若葉會の 慰問義太夫を聴く

### 若松陸軍病院にて

顔馴染の平市若葉會員の諸君が傷病兵慰問の義太夫大會を開き、この日、待ちに待つてゐた初めから豫想外の人氣で若松藝妓屋組合等からも参加の申込みがあつたが、之等を拒絶して十五日午後一時から集會所に開いた。集會者四百余名、先づ中島湖洲氏の漫談、抱腹絶倒で喝采を博す。次に門傳登美乃夫人の先代萩御殿の場は節廻しと言ひ、その他人物を現はすのに妙を得何時こんな上に達し

## 論功行賞

平市出身左記勇士は昭和六年から九年に至る事變に出征し功に著し左の如く夫々行賞された。

- 鶴子 増澤ちよ 松井静
- 江 松崎悦 松本秀子
- 松本幸子 馬目英子 馬目もと子 水野とと 宮下眞佐 三輪貞子 宗像みや 村上富子 村田のき子 森山文子 柳生榮子 矢野澄枝 山崎綾子 山崎春子 山内君子 山部美枝子 横木繁子 横田とと 横田とと 吉田愛子 吉田とと 吉田若松いよ 若松きよ 渡邊若子 渡邊清子

## 石城産看學校 三十八回卒業式

平市播穂小路石城産科婦看護婦學校第三十八回卒業式は十七日午後一時舉行する。卒業生左の如くである。

- 優等生 吉田すさ(大浦)
- 永井さる(四倉)
- 産婆科 大和田千代之 小山田えい 小澤千代 小野孔 吉田すさ 高崎英高木ます 高瀬はつ 高橋琴 田谷好 中野よし 永井さる 長瀬好 植田いね 野川

## 傷病兵慰問 仙臺班出發

平市會館有志の傷病兵慰問仙臺班は十八日出發する。班長は野崎、藤田、馬目の三氏である。

## 中堅農民講習 修得證授與式

石城郡中堅農民講習會は昨年四月から開講本年三月六日修了したが二十二日午前、郡庁から平岡事務所に於て修得證授與式を舉行する。修得者左の如し。

- (泉) 三浦由榮 田子將
- (渡邊) 粒來武 小野秀次
- (勿來) 小松實 渡邊美好

## 松本氏逝く

役場水運主任書記松本新次郎氏は病氣中の處十七日午前一時死去した。遺骨は茶里に附し十九日午後一時から二時迄飯野村北白土寶國寺に於て告別式を執行する。松本氏は昭和七年勤王勲功勳五十年間平町役場勤務した。

の件を息もつかずに一口にやめてめけたあたり確かに場馴れしてゐる。井坂欠に大御所である。井坂欠吉の長後傳兵衛堀川は急速な土達ぶりに驚いた聲も好い節廻しも好い態度も好い。六太郎さんの三味友千代さんのツレ引と來てゐるので全く聴き惚れた實に感服の外はない。午後四時閉會、近來になり、この慰問に接し傷病兵一同心から感謝した。意氣深き國粹義太夫のため益々御奮闘を祈る。

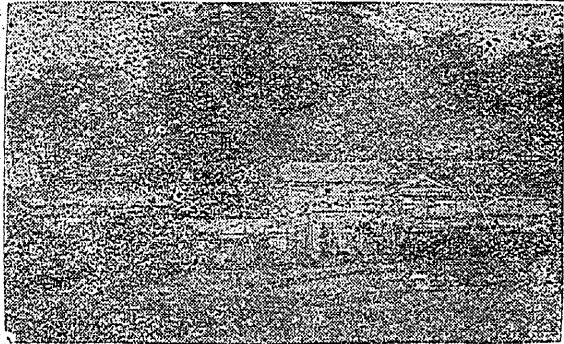
園部義雄 鈴木亦一(上遠野) 井澤誠一 鈴木榮 蛭田方夫(入遠野) 上遠野傳治 平子時太郎 根本定光(川部) 田子政一(田人) 小野金兵衛 小野義一(飯野) 伴田政雄 久田子之松 阿部八郎(夏井) 小野勝太郎 小林茂 木田敬明 山崎俊(高久) 箱崎勝春 野口福壽 大谷藤太郎 齋部文彌 中島勝次(鹿島) 箱崎義雄 鈴木清 三島忠恕(玉川) 鈴木康高 鈴木定義 丹野哲夫(磐崎) 皆川源三郎(好間) 下坂五郎 小野忠雄 酒井富喜 小野豊 中村衛治 四倉泰忠 鈴木業親 草野喜好(赤井) 大平博光 佐藤進 羽賀新 小松男(箕輪) 小沼左内(平) 吉田恒雄 松崎忠平(神合) 菅波豊 片寄徳久 野美喜雄(草野) 飯島清家 粥野豊 新妻正小島喜久治(大浦) 新妻利晴(大樂正司) 片寄定治(四倉) 佐藤富太郎 須藤甚吉(大野) 植田傳村上之 佐藤美夫 高木喜平 丹野智木喜平 丹野智女子の部 渡邊高木(和) 大浦大樂歌子 和田さだ(好間) 大河原和也(川部) 小野あや子(赤井) 鈴木志(會川) 鈴木とと子

### 生徒募集

**四倉實踐女子青年學校**  
 本校は青年學校令に基き、社會の趨勢と地方の情勢とに鑑み、家庭の子女として主婦として必要なる裁縫、手藝、家事等の知識技能を授け、徳性を涵養し、時勢の要求に應ずる婦女子を教育す。

**申込四月一日迄** (始業式四月二日)  
 尚詳細は學校に就き承知せられたし。

**募集**  
 普通科一年 (修業年限二年) 修業小卒卒業業者  
 本科一年 (修業年限三年) 高等科卒業業者  
 研究科 (二年) 工者又は右に準ずべき者



**小鳥料理**  
 『季節珍味』  
 撞球臺 新臺入替爲  
 格安讓度  
 常磐線湯本驛  
 鐵道指定旅館  
 割烹  
**小瀧鑛泉**  
 電話一〇三番

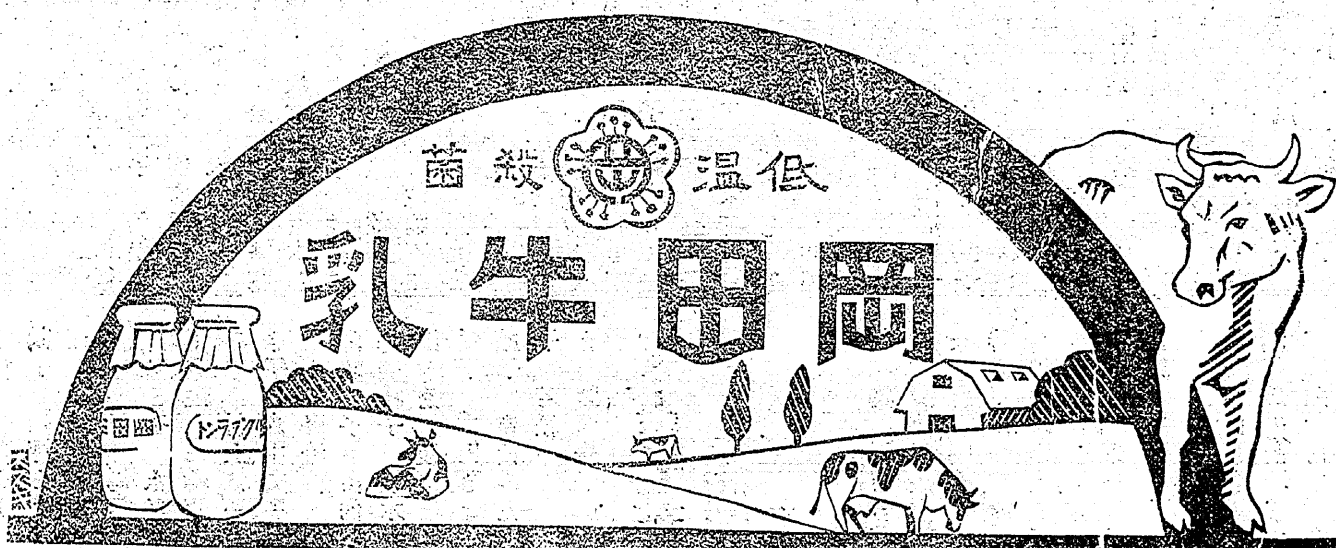
**三十三回 生徒募集**  
 非常時日本の女性に!!!  
 婦人の職業として、家庭の衛生學として、  
 産婆看護婦をお奨め致します。それには  
 成績の最もよいと定評ある……。

**平南町 産婆看護婦學校へ!**  
 ☆申込みは成るべく早く  
 ☆新學期の開始は四月八日より

**平産婆看護婦學校**  
 校長 清野 キヨ  
 電話【三七〇番】

### 岡田牛乳ハ

毎日検査シテカラ  
 賣出サレマス



平市鎌田町  
**岡田ミルクプラント**  
 電話 五一 番  
 配給所 錫本・級・四倉

ヨイ牛乳・イマウ牛乳・イコ牛乳・太牛乳・誰モ飲イタ岡田牛乳

### 生徒募集

**四倉商業水産青年學校**  
 本校は青年學校令に基き、社會の趨勢と地方情勢とに鑑み、實業に従事せんとする者に對し「商業、水産」に關する知識技能を授け、徳性を涵養し、時勢の要求に應ずる青年を教育す。

**募集第一學年(修業年限三年)五十名**  
 尋常小學卒業業者又は右に準ずべきもの  
**申込三月三十日迄** (始業式四月一日)  
 (卒業生の就職願ふ良好なり)  
 尚詳細は學校に就き承知せられたし

### 吉田眼科醫院

▽看護婦數名入用  
 市平紺屋町(電話六八番)

### 平陽女學校

昭和三十二年度入學生募集人員

本科 (修業年限二年)	五〇名
専攻科 (修業年限二年)	五〇名
各科二年 補欠入學生	二〇名
若千名	

課外教授  
 本校生徒は希望に依り左記科目の習得が出来ます  
 タイプライター 將來職業婦人たらしめんとする者  
 琴、生花 家庭婦人としての準備  
 ビデオ 音楽研究を志すもの  
 洋服裁縫を研究せんとする者  
 「タイプライター」修得者は本校に於て就職斡旋致します

入學の手續  
 本校入學の志望者は入學願書に履歷書を添へ三月三十一日迄に提出下さい、入學試験を行います願書受付順に入學許可致します  
 入學式は四月一日舉行致します

授業料の免除  
 出征軍人家族の子弟には入學料授業料を免除致します

平市播磨小路二十番地  
**平陽女學校**  
 電話四四五番

父松本新次郎儀豫て病氣の處藥石効なく本日一時死去致候間御通知に代り謹告仕候

追て遺骸は茶屋に附し來る十九日午後一時から二時迄北白土寶國寺に於て告別式相管可申候

昭和三十三年三月十七日  
 石城郡飯野村北白土  
 男 松本善嗣  
 男 松本金久  
 友人總代 北郷喜多次  
 山野邊達  
 外親戚一同

### 平病院

今般副院長トシテ高橋俊幸氏ヲ招聘シ、内臓外科、一般外科、皮膚泌尿器科、ノ診療ニ從事セシム

院主 醫學博士 鈴木 木定 藏  
 院長 醫學博士 鈴木 木定 藏

内 科	院長 鈴木 木定 藏
小 兒 科	部長 佐藤 幾要 司
皮膚泌尿器科	部長 高橋 俊 幸
物理的療法科	部長 鈴木 定 藏
藥 劑 科	部長 古川 元 雄
外科	部長 吉本 孝 平

◎治療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄  
 夜間診療ニ從事ス  
 (急患ハ此ノ限リニテラス)  
 往診隨時 入院隨時 (自炊ノ便アリ)  
 病室完備 特等室圓、一等室圓五拾錢  
 入院料 一日 二等室圓參拾錢